

麻生太郎副総理兼財務大臣・金融担当大臣からのビデオレター



<http://youtu.be/xz38Kc1J3Jw>

麻生太郎です。皆さんの先輩になるのかな、神奈川県議員の方からメッセージを頂けないかと突然の電話がありまして、神奈川県議員との昔からの付き合いですから、私としては政治家として彼の将来に大きな期待を持っているから、こりゃ断れんと思って、このビデオに出ることになりました。人と人の付き合い、或いは最近の言葉で絆ともいうんでしょうけども、そういうもんです。

高校生の皆さんも、今の隣に座っている友達とか、そういったこの学校の間につくられた人間関係、そういったものは人生の中で、後で必ず役に立ちます。大切にしてもらえればいいなあと思いますけどね。

この記念講演会ですか、同窓会は、後輩のこれからの人生の指針になればという想いで開催されると聞きました。田川高校ならではの、そういった伝統、取り組みではないかと思っています。そこには何となく、自分の出身である母校への誇りとか想いとか愛とか、そういった学校でもある、或いは何だろうな、学んだことを誇りにして、人生のバネにすること、これもとても大切なことです。

人生ってみんな、何だろうなと思う人もいるかもしれないけど、所詮、人生は自らが努力して、自らで自分で切り拓くもんです。誰の責任でもない。責任は自分にある。努力するやつには勝てんし、積み重ねっていうのは、すごく大事なもので、継続というようなものと同じで大事なんです。

私も個人的なことを言わせてもらえたら、自民党の総裁選挙に4回挑戦しました。4回よ。普通1回か、よくて2回。それで普通はそれ以上やる人はいません。私は4回目に初めて勝てて、まあ結果として内閣総理大臣に就任しました。なぜ4回もやるんですか。という考えもあるでしょうけど、私は政治家になるのは目的じゃなくて、政治家になるのは手段だと思っているんです。目的は、自分の生まれた郷土とか、国をさらに発展させたい。

繁栄させたい。そのために頑張りたい。そういう想いが人より多分強かったのかもしれませんが。しかし、そうした想いとか気持ちを持ち続け、自分の気持ちの中に、そして努力したということだと思っています。もちろん、今でも、今、財務大臣してますけど、この国がもう一回、繁栄を自信を誇りを取り戻すために、何をすべきかと思って、今まだ努力を続けているところです。

さて、結論です。自らが自分で何をすべきか、すべきものは何か、これはじっくり考える。時には大いに悩むこともあるでしょう。悩まないで結論が出るなんて、そんな安易なものとかありませんから。ただ、これだけは言えます。皆さんは若い。したがって、皆さんの前に大きく開かれた未来がある。それだけは間違いありません。期待しています。頑張ってください。



「平成25年度岳陽同窓会記念講演会を終えて」

33回生の同級生から総会の実行委員長を頼まれ、同級生には常日頃から迷惑をかけているものですから、是非もなく引き受けることになりました。すると今度は、記念講演会の講師をPHP研究所主席研究員の荒田英知君と二人でやってくれという指令があり、全国で地域主権型道州制等をテーマとして全国で講演し活躍している荒田君の前座であればという事で講師を引き受けさせて頂きました。何を話そうかと考えましたが、やはり校訓である、“水平線上に突起をつくれ”をテーマに、自分のいくつかの経験を元に“私の嶽南魂”という事で講演することにしました。

議員になる前はIT業界に身を置いておりました。それで企業時代の取り組みの中で、水平線上に突起をつくったと自負しています「教育の情報化推進事業」「セットトップボックス」「e-zukaトライバレー構想」「企業誘致コールセンター」「edenpo事業」について、失敗や挫折・苦労話等のエピソードを交え、それをどう乗り越えてきたのかという内容にしました。それを在校生に聞いてもらい、その中で何かを感じてもらい、田川高校性に、将来少しでも役に立ててもらえればという想いで講演致しました。

話に入る前に、前段がありまして、プレゼンを用意しましたので、youtubeにアップしておきます。QRコードで携帯からもご覧頂けます。



<http://youtu.be/ogTaFMBxXTk>

「田川高校生へ」

皆さんは若いですから、将来の夢というものを持っていると思います。社長になりたいとか、政治家を志しているとか、医者になりたい、スポーツ選手になりたい、何かあっと驚くような発明をしたい、いろいろあると思います。

夢のない人生ほど味気ないものはないと、僕自身そう思っています。ただですね、皆さんが夢の実現に向かって一步一步進んでいこうとすると、もしかすると、その夢とは関係のない努力をしなければならないことだってあると思うんです。人の協力が必要な時は

人を説得し、お金が必要な時はお金を稼ぐ。でも、夢と関係ないと思われるところに努力をするところが、とても大切なんですね。

僕は、人が育つってというのはこの努力するところにあると思います。言い換えますと、人が育つのは、夢を持っているからありまして、夢の大きさによって、人もまた大きく成長いくんじゃないかとも思います。

でも、皆さんは私と同様に必ず失敗します。挫折します。くじけて、泣いて、悔しい想いをして・・・自分じゃどうしようも解決できない問題が、次から次へと、何度も何度も訪れるんです。

夢の大きさによって人も大きく育つと言いましたが、実は、夢の大きさによって失敗も大きくなっていきます。立ち直れないくらいふさぎ込んでしまうことがあるかもしれません。でも、大丈夫です。ここにおられる先生たちも、何回も失敗し続けているんです。校長先生も同じです。皆さんのお父さんやお母さんも、多分そうなんです。失敗のない人生を送っている人なんて、いないと思います。まあ皆さん、年齢とともに失敗も試練も大きくなってきますから、若い時の失敗なんていうのは大したことはありません。

僕の高校時代を振り返りますと僕が高校時代に将来なりたかった職業は税理士でした。どうしてか？僕の伯父さんが税理士をしておりますね、いつも海外旅行に出かけていたんです。税理士ってお金持ちなんだいい生活が送れるんだと単純にそう思っていました。そこで大学は商学部を受験しました。結果は1勝5敗で、1つだけ合格したのが日本大学商学部会計学科でした。

大学に入りますと、すぐに公認会計士・税理士養成講座を受けました。簿記は何とか理解できたんですが、原価計算というのがありましてね、その原価計算の考え方がよくわからず、たった3カ月で挫折してしまいました。会計の道を諦め、当時まだマイナーだったんですが、情報管理・コンピューターのゼミに入ることになったんです。同時に、日本大学福岡県人会の活動を積極的に行うようになりまして、3年生の時には福岡県人会の幹事長になり、先程見てもらいました通り、日本大学音楽祭の実行委員長を致しました。

それと、3年生の時に当時自民党幹事長で、皆さんの田川高校の先輩になり、私の親戚にもなるんですが、田中六助先生の選挙をお手伝いしたんです。今思うとですね、ITも政治も大学時代から、何となく、繋がっていたんだと思います。

昭和37年9月20日生 50才
 添田町立添田小・中学校卒業
 昭和56年 福岡県立田川高等学校卒業
 昭和60年 日本大学商学部会計学科卒業
 昭和60年 麻生セメント株式会社入社
 平成13年 株式会社麻生情報システム 社長
 平成23年 福岡県議会議員初当選

平成10年 文科省・経済産業省、教育の情報化推進事業
 平成12年 福岡県SOHO協議会 委員
 平成13年 社団法人福岡県情報サービス産業協会 理事
 平成15年 飯塚市トライバレー推進委員会 委員
 平成15年 福岡県経済動向ネットワーク委員会 委員
 平成16年 飯塚商工会議所 議員
 平成17年 福岡県学力向上推進会議 委員(企業代表)
 平成23年 福岡県議会議員

私の経歴や結果だけ、こうやって見ておりますと、仕事も選挙も、何となく成功しているように見えるんですが、実は、失敗や挫折の連続だったんです。
 ただですね、失敗しながらも、違うやり方を試したり、思い切って諦め、別の道を見つけたり、ない知恵を絞り、それを行動に移してきたことが、良かったんじゃないのかなあと
 思います。責任が大きくなってきた役員・社長時代の頃、市町村の仕事から県・国の仕事をするようになりました。

(教育の情報化推進事業について)

情報教育においても、先程見てもらいましたように、平成2年に情報教育が指導要領に取り入れられてからずっと続けてきました。指導要領は10年ごとに見直されますが、平成12年の指導要領見直しに向けて平成10年から文部科学省・経済産業省のモデル事業として教育の情報化推進事業の公募案件がありました。これに採択され、全国に先駆けてここ田川郡で実証実験に取り組んだんですが、この教育の情報化推進事業の話をしたいと
 思います。

(セットトップボックスについて)

次は、STB・セットトップボックスについて話をしたいと思います。これはテレビに接続してインターネットや様々なサービスが受けられる端末なんですが、日本で初めて、街ごとブロードバンドに取り組んだ事業です。

こうさき 聡
http://www.kouzakisatoshi.com

STB(セットトップボックス)～日本初、旧山田市～

- 平成12年度「新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業」にてケーブルテレビを整備。
- 平成13年度「地域情報交流基盤整備モデル事業」全家庭にSTB(4,700世帯)を設置、STB機能(IP電話・TV電話・インターネット・メール・インターネットTV電話・告知放送・アログ表示)

<導入初期>・市内はIP電話による無料電話を実現、(住民サービスの向上)
 ・テレビを活用したインターネット・メールを利用、(Web閲覧板を実現)
 ・告知放送とアログ表示を活用、(平成15年6月台番号上陸時に一斉告知放送を実施)

<現在の活用状況>

- 「老人保健事業推進費」にて安否確認と遠隔保健指導の導入。
 ・TV電話機能を利用して独居老人の安否確認。
 ・インターネットTV電話機能を利用して遠隔保健指導。
- 「eまちづくり交付金」にてインターネット学習塾の導入。
 ・CATV網を利用して自宅からネット学習を行う。

こうさき 聡
http://www.kouzakisatoshi.com

STB(セットトップボックス)

IP電話、TV電話、インターネットメール、インターネットTV電話、告知放送、アログ表示

<多機能タイプ>
 CATV網、IP電話、TV電話、インターネットメール、インターネットTV電話、告知放送、アログ表示

オプション
 テレビ、インターネットメール、TV電話、CATV、ADSL、FTTH、IP電話、TV電話、インターネットメール、インターネットTV電話、告知放送、アログ表示

(e-z u k aトライバレー構想について)

次に、e-zukaトライバレー構想という街づくりについてのお話をしたいと思います。そもそも飯塚市は、九州工業大学情報工学部を麻生太郎先生が誘致してきた頃から学園都市構想を標榜していたんです。全国から優秀な学生が来ているんですが、地元有力企業がそんなにないですから結局就職口がなくてですね、学生が地元に残らない。何のために大学を誘致してきたのか、そんな心もとない事を言う人がいたもんですから、飯塚市に働きかけましてね、それやったら学園都市じゃなく情報産業都市を目指しましょう。

受け皿の企業がないんやったら、自分たちで起業家し、ベンチャーの育成、日本一創業しやすい街づくりを創りましょう。と話を持ちかけましてね、産学官連携のe-zukaトライバレー委員会を立ち上げました。トライバレーというのは、トライする・チャレンジする。アジアに向けて渡来する。海の向こうから渡って来るという意味です。産・学・官の3つのトライアングル。から取りまして、案件創出・人材育成・ベンチャー支援・産学連携と面白い事業を次から次へと仕掛けました。



(サービスウェア九州について)

香春町にS C S Kサービスウェアというコールセンターがあります。場所はバイパスのちょうど島村の前ぐらいになりますけれども・・・12年前になりますか？この会社を誘致した経緯を話したいと思います。

サービスウェア九州誘致



事業内容

カスタマーサービス

ハードベンダーやソフトベンダー製品に関してメーカーに代わって、そのメーカーの製品を使用するユーザーの疑問点やトラブル等様々な相談や問い合わせに答えるサービス

運用支援サービス

受注代行業務、カスタマーインフォメーション等 E-コマースやインターネットビジネスを支援するサービス

募集要項

テクニカルサポートエンジニア

ソフトウェア・ハードウェア等に関して、ユーザーからのお問い合わせにお答えするサポート業務をお任せします。お問い合わせの内容は初歩的なものから専門的なものまで様々です。どうすれば的確にわかりやすく説明できるか、また常にユーザーとのコミュニケーションを大事にしてください業務にとりこんでいただきます。

カスタマーサポート

契約メーカーの製品を使われているお客様からのユーザー登録、契約に更新等に関する質問に、電話やメールでお答えする業務です。

テレフォンオペレーター

電話でお客様に対し、商品の説明やご案内などをおこなっていただきます。

テレコミュニケーター



- 8 -

(e-denpoについて)

次の事業は、e-denpoという事業ですが、これはですね、ソフトバンクの孫さんでさえ、取り組めなかった事業だったんです。NTTの独占で約600億円の市場規模だと言われていました。

こうざき 聡
e-denpo
電報ビジネスモデル

こうざき 聡 ホームページ
http://www.kouzakisatoshi.com

電報ならe-denpo | 低価格で祝電・弔電を即日配達する電報サービス

文字サイズ
標準
大

個人のお客様はこちら

e-denpo
低価格・即日配達の電報サービス

ログイン
サイトマップ
お問い合わせ

トップページ
ご利用方法
お祝い電報
お悔やみ電報
シーンから選ぶ
文例集
よくある質問

お届け日時を確認
法人会員ログイン
新規会員登録
ご利用サポート
e-denpoカタログダウンロード
FAX用ご注文用紙ダウンロード
お電話でのお問い合わせ
0120-500-868
受付 / 8:00~22:00
WEBからのお問い合わせ

e-denpoご利用のメリット
経費削減&業務効率化のお手伝い

14時までの
お申込みで
当日配達
各部署の
履歴・請求
管理が可能
電報一通が
954円から!
(税込1,001円)

平均
2500円
一般的な電報
954円
から
e-denpo

安くご利用頂けるようにムダを省きました。
その他メリットの詳細はこちら

シーンから選ぶ
結婚
心からの祝福の
思いを込めて
葬儀
お悔やみの
気持ちを形電で
人事・お祝い
就任・栄転・叙勲・褒賞、
退職のお祝いに

- 9 -

こう見えても、いろいろやってきたんですよ。たしかに、キッカケは、お酒の場が多かったと思いますし、いい加減やなあ〜思われるかも知れませんが、本当に、まわりからしますと夢のようなバカげた話だったかもしれませんが、でも、本人としては至って真剣に、燃える想いで、極めて誠心誠意、取り組んできたつもりです。

’世の人は 我を何と云えばいい 我が為す事は 我のみぞ知る’

坂本龍馬のような気持ちで取り組んできました。

最後になりますが私が政治を志したのは、今までお話したように新しいことにチャレンジしよう。筑豊から発信しよう、福岡から日本を変えようと、From Fukuoka を合言葉に、頑張ってきました。

飯塚は間違いなく変わってきましたが、同じ筑豊でも、僕の地元田川は何となくパァ〜としない。

今まで話したように僕自身が、仕事も街づくりも政治というものを身近で感じておりまして、やっぱり政治力って大きいよなあと実感していました。これからは国もそうですが、地方の役割が大きくなってくる。それで政治への一步を踏み出そうと決断しました。

最初の選挙は、1年半をかけての選挙でしたが、13,508票という票をいただきながら、千票あまりの差で、負けてしまいました。やっぱり、失敗からの始まりでした。次の選挙まで4年かけて、通算5年半をかけて、議員になったわけであります。

企業時代も多くの人たちを巻き込んで仕事をしてきましたが、選挙は仕事の比じゃありま

せんでした。家族や親せき、地域住民の皆さんをはじめ、行政、企業、あらゆる団体、すべての人たちを巻き込んでの戦いでした。本当に大変な職業についたなあと思います。それだけに、県政はもとより、国や地元田川のこと、あらゆる分野・様々な年齢層、ありとあらゆることに関係しておりますし、当然責任も重たくなります。ですから、常にアンテナを高く、勉強をしなければなりませんし、その分、とてもやりがいのある仕事だと思います。

(福岡県議会の様子)

福岡県議会の様子は、こんな感じです。県議会議員は 86 名です。本議会や常任委員会・特別委員会や様々な議員連盟があります。本会議の代表質問で、中高一貫教育の問題に対して、田川高校にも触れましたので、ちょっと聞いて頂ければと思います。



<http://kouzakisatoshi.fc2-rentalserver.com/hpgen/HPB/files/chukouikan.mp3>

ふるさとへの子供たちの熱い思いが地域の将来を担っていきますので、中高一貫校の設置について要望いたします。私の母校県立田川高等学校には、水平線上に突起をつくれという校訓があります。現役生、卒業生はこの校訓を心に刻み、それぞれの分野で第一人者になれるように努力を積み重ねながら可能性にチャレンジし、各界、各分野で活躍しております。昭和五十五年、私が三年生のときには夏の甲子園をかけ筑豊決戦、川筋決戦と言わ

れた宿敵嘉穂高校との決勝戦に勝ち、甲子園初出場を果たしました。身近に競争相手がいることで、実力を最大限発揮でき、それが母校、そして郷土に対しての自信と誇りになりました。学力の面でも鞍手高校、嘉穂高校、田川高校は、三地区模試というテストで競い合っていました。ただ、よきライバル校ではありましたが同じ筑豊でも筑前の国、豊前の国という歴史もあり、言葉も風土も伝統文化も違います。通学圏や生活圏が広域になったからという理由で筑豊に一つ中高一貫校を設置すると論じるのは、いかがなものかと思います。分権型社会の構築に向けて地元で子供たちを育てる重要性は極めて高く、中学、高校の青春時代というのは郷土に対しての自信と誇りを持てる貴重な時期だとも思います。地方が再生するには人しかいません。将来に向けて十三学区ごとの中高一貫校の設置を強く要望いたします。



<http://youtu.be/cEJR523dZVY>

これから、世の中大きく変わってきます。本当にいろいろな事がおこっています。政治や経済も、そして社会そのものが大きな節目の時期になっているんじゃないかと思います。後世の歴史家は今の時代を何と言うんでしょうか？私はきっと戦国時代と明治維新が一緒になったような、そんな100年に1度、1000年に1度あるかないかのような激動の時代だったと言うんじゃないかと思います。そんな激動の時代に今皆さんは生きています。この時代、皆さんは、何もせず、じっとして眺めるだけの人生を送りますか？それとも自分から道を切り開いていきますか？試練から逃げる人、どんな環境にもなってもくじけずに立ち向かう人、これから皆さんは、自分に問われる瞬間が必ずやってくると思います。今までの社会は誰かが切り開いた道を後から歩んで行けばよかったのかもしれませんが。でもこれからは、道なき道を進まなければならないと思います。若い皆さん方には、たった一度の人生ですから思いっきり挑戦して頂きたいと思います。

皆さんには、夢があります。希望があります。何よりも若さがあるんです。大きな可能性を秘めております。大事な事は、倒れないことじゃありません。倒れても立ち上がる事です。立ち上がる勇気を持つ事だと思います。

最後に、守破離・守破離という言葉 皆さんにお伝えしたいと思います。これは千利休・お茶の世界の言葉ですが、「規矩作法、守りつくして破るとも 離るるとも 元を忘るな」という言います。規矩とは耳で聞くとする事じゃ師匠の教えの通り、基礎基本をしっかり学び守りなさい。ただ、どこかの時点で、一度殻を破って、自分自身のオリジナリティを創るために離れなさい。でも最初に教えてもらった基本は忘れちゃダメですよ。という意味です。

皆さんは、ディズニーランドに行ったことがありますか？東京ディズニーランドは、4月15日で開業30周年を迎えました。テーマパークとしては、国内の4割のシェアとして独走が続いています。好調の理由は、リピーターの多さとファミリー層を重視していることです。その時の子供たちが、大人になってからの来園にもつなげているところです。そのため、ディズニーランドは常に変化し続けているんです。常に新しい感動を与えているんです。ディズニーランドには「夢と感動を与える」という理念があります。

こんな話があります。ある時、ディズニーランドに若い夫婦が来ました。その若い夫婦は、レストランで食事をする時に、お子様ランチをウェイトアの青年に注文したそうがあります。ディズニーランドのマニュアルでは、「お子様ランチは9歳以下のお子様用ですし、大人の方には少し物足りないかと思われますので・・・」と言って断るそうです。でも、そのウェイトアの青年は、マニュアルを逸脱して、「どなたがお食べになられるのですか？」そう聞いたそうです。若い夫婦の女性が「実は、私どもにはなかなか子供に恵まれませんでした。そして、やっとの思いで、やっとの思いで子供を授かったのですが、その子供は病弱で1才を待たずに亡くなってしまいました。今日がその子供の一周忌なんです。」そう話したそうです。青年は、その若い夫婦を家族席に案内し、しばらくお待ち下さいと言って、子供用の椅子を用意してお子様ランチを3つ運んできました。そして、どうぞ、ご家族でごゆっくりお召し上がり下さいと言ったそうであります。若い夫婦は涙を流しながら、そのお子様ランチを食べました。

後からその夫婦から手紙が来て、「私たちはディズニーランドであんなに感動するとは思いませんでした。でも、もう私たちは泣きません。この子の弟か妹をきっと連れてきたいと思います。」そう書いてあったそうであります。

マニュアルを逸脱した青年は、とがめられることもなく、今でもディズニーランドでは絶賛されているそうです。

何でも杓子定規じゃなく、マニュアルを超えたところに感動があるんです。私は、こんな夢と感動を与える地域に田川もきつとなれると思います。情報化社会、なさけに報いる社会と書きます。田川にもっとも相応しい社会だと思っています。

ここにいる、若い皆さんが、21世紀の新しい日本を是非創って下さい。そして、生まれ育ったこの田川に、いつの日か必ず恩返しをして下さい。

嶽南魂を持っている皆さんだからこそ、様々な試練を乗り越えて、きっと実現できると信じております。

前途有望な若い皆さんに心からエールを送ると共に、福岡県立田川高等学校のさらなる発展を祈念申し上げまして、私の講演を終わります。

御清聴ありがとうございました。

政治を志し、何をするのか！

夢と感動を与える地域へ

情に報いる21世紀の地域を是非一緒に創っていきましょう

守
破
離

“たがわ”の夢と将来を！

皆さんの夢が実現できるのが私の夢です！

- 14 -

